

令和4年度 事業報告

山梨県では、健康増進計画「健やか山梨21(第二次)」の目標として「健康寿命の延伸と市町村間の健康格差の縮小の実現」を掲げ取り組んでいる。また、「山梨県がん対策推進計画(第3次)」を策定し「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す」ことを目標としている。

当事業団は、これらの重要施策に貢献するため、健康増進法等関係法令に基づく健診・検査事業、公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業を実施し、その実施にあたっては、市町村等の顧客ニーズに応え、より効果的な運営に努めた事業を推進している。

国内で新型コロナ感染が確認されてから3年が経過し、令和4年度においても、感染力が極めて強いオミクロン株が主流となり、第6,7波はこれまでを上回る規模で感染が拡大した。

このような状況の中、令和4年度も日々の健診事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、関係団体のガイドライン等を参考に「健康診断における感染症対策」を更新し、実施主体の協力のもと、事前予約制の導入、健診会場での健康観察、換気対策、消毒の徹底、マスクの着用等感染対策を徹底しながら健診業務を行い、受診者の回復・受診率向上に努めた。

大幅に受診者が減少した令和2年度から翌年度は回復傾向にあったが、令和4年度は健診の延期・中止等なかったものの、感染拡大の影響による受診控え等により、全体的には前年度を下回った。

厳しい事業環境下であっても、受診者様に満足度の高い健康診断の提供を目指し、職員の意識改革、公益法人としての健診データを基に調査研究及び普及啓発活動に取り組んだ。

I 健診・検査事業

事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で、県民の健康管理及び健康増進を目指し、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣予防健診、特定健診などを、出張健診として、県内各地に所在する市町村、事業所及び学校他を対象に総合的に実施するとともに県民から、一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

また、コロナ感染症の対策においては、健診関連8団体が策定した「健康診断における新型コロナウイルス感染症対策」をもとに、感染症対策を徹底するとともに、受診者の回復に努めた。

1 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下11市町村より委託を受け、40歳から74歳を対象とした特定健診 8,709人、75歳以上の後期高齢者の健診 3,344人、39歳以下の若年者の健診 626人合わせて12,679人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して190人減少した。

メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当1,480人(11.7%)、予備群該当1,070人(8.4%)、非該当9,132人(72.0%)、判定不能997人(7.9%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
平成30年度	11	13,850	1,577	11.39%	1,117	8.06%	10,216	73.76%	940	6.79%
令和元年度	11	13,815	1,614	11.68%	1,195	8.65%	10,005	72.42%	1,001	7.25%
令和2年度	11	9,852	1,134	11.51%	846	8.59%	6,904	70.08%	968	9.83%
令和3年度	11	12,869	1,578	12.26%	1,135	8.82%	9,226	71.69%	930	7.23%
令和4年度	11	12,679	1,480	11.67%	1,070	8.44%	9,132	72.02%	997	7.86%
比較増減		▲ 190	▲ 98	—	▲ 65	—	▲ 94	—	67	—

【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
平成30年度	11	10,598	305	2.88%	773	7.29%	9,520	89.83%	0	0.00%
令和元年度	11	10,347	258	2.49%	806	7.79%	9,283	89.72%	0	0.00%
令和2年度	11	7,314	214	2.93%	558	7.63%	6,542	89.44%	0	0.00%
令和3年度	11	9,722	290	2.98%	717	7.38%	8,715	89.64%	0	0.00%
令和4年度	11	9,327	250	2.68%	652	6.99%	8,425	90.33%	0	0.00%
比較増減		▲ 395	▲ 40	—	▲ 65	—	▲ 290	—	0	—

(2)特定保健指導

特定健診を実施した11市町村のうち5市町から特定保健指導を受託し、積極的支援33人
動機づけ支援58人の指導を実施した。

【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	H30	R01	R02	R03	R04	H30	R01	R02	R03	R04
上野原市	8	7	7	6	9	66	45	49	52	39
都留市	13	10	3	11	15					
富士川町	8	10	11	6	3					
富士河口湖町	3	2	5	0	3	14	16	15	20	19
南部町	5	5	2	2	3					
合計	37	34	28	25	33	80	61	64	72	58

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

特定保健指導の結果、最終評価終了者74人中、メタボ脱出者は4人(5.41%)であった。

【特定保健指導結果】

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接修了者	27	6	33	39	19	58	66	25	91
途中修了者	9	2	11	3	3	6	12	5	17
最終評価終了者	18	4	22	36	16	52	54	20	74
メタボ脱出者	2	0	2	0	2	2	2	2	4
内服開始者	0	0	0	2	4	6	2	4	6

※ メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMIともメタボリックシンドローム判定基準

以下を達成した者

※ 内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の

内服を開始した者

2 各種がん検診等

新型コロナウイルス感染症も新たな変異株オミクロン株が流行し、健康診断受診控え等により、令和3年度は回復傾向にあったがん検診も、さらに増加を見込んでいたが、令和4年度は受診率の向上は厳しい状況であった。

また、厚労省の対策型がん検診における、対象年齢、受診間隔等の見直しもはじまり、より一層厳しい状況が続くと予想される。

(1)胃がん検診

県下15市町村の住民4,937人、県職員、県教職員及び事業所職員等2,395人合せて7,332人の検診を実施し、前年度と比較して579人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は517人、要精検率7.05%であった。

追跡調査の結果精密検査を受診した者は376人、精検受診率72.73%で、精密検査結果は、がん発見数8人(発見率0.109%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見数	
平成30年度	16	9,927	938	9.45%	723	77.08%	8	0.081%	
令和元年度	16	9,023	859	9.52%	638	74.27%	5	0.055%	
令和2年度	15	7,512	751	10.00%	501	66.71%	3	0.040%	
令和3年度	15	7,911	666	8.42%	478	71.77%	5	0.063%	
令和4年度	15	7,332	517	7.05%	376	72.73%	8	0.109%	
内 訳	市町村	15	4,937	392	7.94%	309	78.83%	6	0.122%
	職域等		2,395	125	5.22%	67	53.60%	2	0.084%
比較増減			▲ 579	▲ 149	—	▲ 102	—	3	—

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和5年3月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成30年度	131	31	1	349	59
令和元年度	114	35	9	414	53
令和2年度	112	26	2	308	42
令和3年度	120	21	2	276	50
令和4年度	107	31	1	199	30

(2)肺がん検診

県下11市町村の住民12,965人、県職員、県教職員及び市町村教職員等3,774人、
合せて16,739人の胸部X線検診を実施し、前年度と比較して106人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は120人、要精検率0.72%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は101人、精検受診率84.17%で、精密検査結果は、
がん発見数4人(発見率0.024%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数600以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて
276人が受診し、精密検査を要する者は0名であった。

【胸部X線検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村 数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見数	
平成30年度	11	18,084	318	1.76%	266	83.65%	12	0.066%	
令和元年度	11	18,017	178	0.99%	147	82.58%	7	0.039%	
令和2年度	11	15,410	126	0.82%	92	73.02%	6	0.039%	
令和3年度	11	16,845	140	0.83%	104	74.29%	5	0.030%	
令和4年度	11	16,739	120	0.72%	101	84.17%	4	0.024%	
内 訳	市町村	11	12,965	111	0.86%	95	85.59%	4	0.031%
	職域等		3,774	9	0.24%	6	66.67%	0	0.000%
比較増減			▲ 106	▲ 20	—	▲ 3	—	▲ 1	—

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

	市町村 数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検 受診者数	がん 発見数	がん 発見数	
平成30年度	10	262	5	257	0	0	0	—	
令和元年度	10	177	5	172	0	0	0	—	
令和2年度	10	173	9	164	0	0	0	—	
令和3年度	10	313	26	286	1	1	0	—	
令和4年度	10	276	19	257	0	0	0	—	
内 訳	市町村	10	134	12	127	0	0	—	
	職域等		142	7	130	0	0	—	
比較増減			▲ 37	▲ 7	▲ 29	▲ 1	▲ 1	0	—

(3)大腸がん検診

県下11市町村の住民10,531人、県職員、県教職員及び事業所職員等5,435人
合わせて15,966人の検診を実施し、前年度と比較して15人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は461人で要精検率4.38%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は376人、精検受診率は55.13%で、
精密検査結果の内訳では、がん発見数16人(発見率0.10%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村 数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見数	
平成30年度	11	17,165	783	4.56%	497	63.47%	18	0.105%	
令和元年度	11	17,106	840	4.91%	474	56.43%	15	0.088%	
令和2年度	11	14,731	707	4.80%	354	50.07%	13	0.088%	
令和3年度	11	15,981	756	4.73%	413	54.63%	12	0.075%	
令和4年度	11	15,966	682	4.27%	376	55.13%	16	0.100%	
内 訳	市町村	11	10,531	461	4.38%	303	65.73%	15	0.142%
	職域等		5,435	221	4.07%	73	33.03%	1	0.018%
比較増減		▲ 15	▲ 74	—	▲ 37	—	4	—	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和5年3月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他疾患	異常認めず
平成30年度	238	48	38	17	116
令和元年度	240	43	31	18	118
令和2年度	166	33	21	12	84
令和3年度	198	51	25	17	90
令和4年度	200	44	27	21	68

(4)乳がん検診

県下14市町村の住民7,675人、事業所職員等509人、合せて8,184人の検診を実施し、前年度と比較して212人減少した。受診者のうち無料クーポン対象者は206人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者257人で要精検率3.14%であった。

追跡調査の結果、精密検査受診者は226人、精検受診率は87.94%で、精密検査結果は、がん発見数13人(発見率0.16%)であった。

検査方法の内訳は、マンモグラフィ検査のみ6,235人、乳腺超音波検査のみ1,925人、マンモグラフィ・超音波検査併用24人で、がん発見数13人の内訳は、マンモグラフィで10人、乳腺超音波検査2人、マンモグラフィ・超音波検査併用1人であった。

【乳がん検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成30年度	14	10,763	328	3.05%	280	85.37%	24	0.223%	
令和元年度	14	10,621	287	2.70%	244	85.02%	12	0.113%	
令和2年度	14	8,642	285	3.30%	230	80.70%	10	0.116%	
令和3年度	14	8,396	216	2.57%	183	84.72%	14	0.167%	
令和4年度	14	8,184	257	3.14%	226	87.94%	13	0.159%	
内訳	市町村	14	7,675	240	3.13%	214	89.17%	11	0.143%
	職域等		509	17	3.34%	12	70.59%	2	0.393%
比較増減		▲ 212	41	—	43	—	▲ 1	—	

【精検結果内訳(がんを除く)】

(令和5年3月末 現在)

	乳腺症	線維線種	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成30年度	35	21	42	61	117
令和元年度	31	19	55	27	98
令和2年度	25	23	35	36	95
令和3年度	20	26	40	19	61
令和4年度	19	22	58	28	83

【検査方法内訳】

(令和5年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	6,235	230	3.69%	204	88.70%	10	0.160%
乳腺超音波	1,925	25	1.30%	20	80.00%	2	0.104%
マンモ+超音波	24	2	8.33%	2	100.00%	1	4.167%

(5)子宮頸がん検診

子宮頸がん検診については、全国健康保険協会（協会けんぽ）加入事業所等の職員を対象として実施した。

受診者104人で、前年度と比較して17人減少した。精密検査を要する者は0人であった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見率
平成30年度	134	0	0.00%	0	—	0	—
令和元年度	122	0	0.00%	0	—	0	—
令和2年度	137	1	0.73%	1	100.00%	0	—
令和3年度	121	3	2.48%	1	33.33%	0	—
令和4年度	104	0	0.00%	0	—	0	—
比較増減	▲ 17	▲ 3	—	▲ 1	—	0	—

(6)腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、15市町村の住民16,219人、事業所職員等754人合せて16,973人の検診を実施し前年度と比較して578人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は490人で、要精検率2.89%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は355人、精検受診率は72.45%であった。

精密検査の結果発見されたがんは、肝臓6人、胆のう2人、腎臓4人、その他2人の合計14人(発見率0.082%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村 数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	
平成30年度	16	19,391	689	3.55%	510	74.02%	
令和元年度	16	18,887	629	3.33%	434	69.00%	
令和2年度	15	13,926	503	3.61%	340	67.59%	
令和3年度	15	16,395	541	3.30%	396	73.20%	
令和4年度	15	16,973	490	2.89%	355	72.45%	
内 訳	市町村	15	16,219	476	2.93%	351	73.74%
	職域等		754	14	1.86%	4	28.57%
比較増減		578	▲ 51	—	▲ 41	—	

【臓器別がん発見数】

(令和5年3月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成30年度	5	0	1	1	1	8	0.041%
令和元年度	8	0	2	1	3	14	0.074%
令和2年度	2	1	2	1	0	6	0.043%
令和3年度	4	0	1	1	0	6	0.037%
令和4年度	6	2	4	0	2	14	0.082%

【臓器別疾患数】

(令和5年3月末 現在)

	肝臓疾患	胆のう疾患	腎臓疾患	膵臓疾患	脾臓疾患	その他	異常認めず
平成30年度	108	81	38	113	2	27	95
令和元年度	94	62	37	116	0	36	53
令和2年度	76	60	53	78	2	10	41
令和3年度	88	71	35	111	1	28	42
令和4年度	81	45	33	104	2	19	34

(7)前立腺がん検診(血液PSA検査)

県下10市町村の住民3,284人、事業所職員等527人、合わせて3,811人実施し、前年度と比較して195人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は237人で要精検率6.22%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は150人、精検受診率は63.29%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数18人(発見率0.47%)で、前立腺がん疑いの者40人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成30年度	9	3,892	287	7.37%	193	67.25%	17	0.437%	66	
令和元年度	10	3,952	211	5.34%	137	64.93%	9	0.228%	54	
令和2年度	10	3,071	165	5.37%	94	56.97%	10	0.326%	26	
令和3年度	10	3,616	225	6.22%	153	68.00%	8	0.221%	46	
令和4年度	10	3,811	237	6.22%	150	63.29%	18	0.472%	40	
内訳	市町村	10	3,284	221	6.73%	148	66.97%	18	0.548%	40
	職域等		527	16	3.04%	2	12.50%	0	0.000%	0
比較増減		195	12	—	▲ 3	—	10	—	▲ 6	

【精検結果内訳・がん以外】

(令和5年3月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成30年度	62	2	31
令和元年度	41	6	22
令和2年度	32	4	18
令和3年度	62	4	28
令和4年度	54	5	30

(8)結核検診

市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合わせて37,388人の検診を実施し、前年度と比較して369人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は1,350人、要精検率3.61%であった。

追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

【結核検診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	結核 患者数	その他 疾患	異常認めず
平成30年度	40,109	1,687	4.21%	1,211	71.78%	0	806	390
令和元年度	39,473	1,513	3.83%	1,038	68.61%	0	698	303
令和2年度	35,794	1,350	3.77%	880	65.19%	0	572	275
令和3年度	37,757	1,733	4.59%	1,277	73.69%	0	678	357
令和4年度	37,388	1,350	3.61%	943	69.85%	0	587	357
比較増減	▲ 369	▲ 383	—	▲ 334	—	0	▲ 91	0

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・県教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて17,515人の健診を実施し、前年度と比較して408人減少した。

授産2施設の受託がなくなったことが、減少の理由である。

【職域健診実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	市町村 職員	市町村 教職員	県職員	県教委 職員	大学・ 専門学校	民間 企業等	合計
平成30年度	481	1,676	2,423	1,941	2,878	8,328	17,727
令和元年度	523	1,664	2,383	1,890	2,875	8,320	17,655
令和2年度	518	1,667	2,483	1,868	1,691	8,476	16,703
令和3年度	375	1,733	2,485	1,754	2,814	8,762	17,923
令和4年度	374	1,750	2,455	1,729	2,735	8,472	17,515
比較増減	▲ 1	17	▲ 30	▲ 25	▲ 79	▲ 290	▲ 408

4 学校保健安全法に基づく検診検査

(1)心臓検診

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査9,136人、心音図検査3人を実施した。

前年度と比較して、心電図検査で954人増加し、心音図検査では1人減少した。

心電図検査の要精検者数は411人、要精検率4.50%であった。

【心電図・心音図検査実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
平成30年度	9,108	633	6.95%	29	3	10.34%
令和元年度	8,844	617	6.98%	14	2	14.29%
令和2年度	8,507	1,268	14.91%	23	3	13.04%
令和3年度	8,182	379	4.63%	4	0	0.00%
令和4年度	9,136	411	4.50%	3	0	0.00%
比較増減	954	32	—	▲ 1	0	—

(2)寄生虫卵検査

県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて2,145人の検査を実施し、前年度と比較して428人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は4人、保卵率は0.186%であった。

【寄生虫卵検査実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蟯虫	その他	
平成30年度	5,677	2	2	0	0.035%
令和元年度	5,124	2	2	0	0.039%
令和2年度	3,325	5	5	0	0.150%
令和3年度	2,573	0	2	0	0.000%
令和4年度	2,145	0	4	0	0.186%
比較増減	▲ 428	0	2	0	—

(3)尿検査

県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等42,741人の検査を実施した。前年度と比較して988人減少した。

1次検査の陽性者1,301人(陽性率3.04%)のうち、2次検査を1,139人実施し、陽性者は201人(陽性率17.65%)であった。

【尿検査実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	1次検査			2次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
平成30年度	42,829	1,021	2.38%	864	202	23.38%
令和元年度	41,695	1,049	2.52%	930	190	20.43%
令和2年度	40,148	1,041	2.59%	898	206	22.94%
令和3年度	43,729	1,440	3.29%	1,301	331	25.44%
令和4年度	42,741	1,301	3.04%	1,139	201	17.65%
比較増減	▲ 988	▲ 139	—	▲ 162	▲ 130	—

	1次検査 陽性者内訳				2次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成30年度	28	234	700	41	7	27	144	14
令和元年度	33	246	729	44	13	36	131	12
令和2年度	73	285	672	35	22	27	143	16
令和3年度	84	320	988	49	18	54	243	17
令和4年度	87	318	856	45	18	35	143	7

(4)血液貧血検査

1村の中学校生徒31人の検査を実施し、前年度に比較して10人減少した。検査の結果、要精検者が1人であった。

【貧血検査実施状況】

(令和5年3月末 現在)

	受診者数	軽度異常者	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成30年度	392	17	4.34%	11	2.81%
令和元年度	21	1	4.76%	0	0.00%
令和2年度	28	0	0.00%	1	3.57%
令和3年度	41	1	2.44%	0	0.00%
令和4年度	31	0	0.00%	1	3.23%
比較増減	▲ 10	▲ 1	—	1	—

II がん対策

山梨県において昭和58年から「がん」は死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を占めており、日本人の2人に1人ががんに罹り3人に1人ががんで死亡すると言われている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」の総合的な対策を推進している。これに呼応して、健康管理事業団は県からの委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営のほか、さまざまながん対策を行っている。

1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に実施している保健師、ピア・サポーターの面接及び電話による相談、就労に関する社労士（毎月第3火曜日）による相談等がん患者やその家族が抱える様々な相談に対応すべく窓口を設け、相談者の不安や悩みの解消に努めた。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、社会保険労務士及びピア・サポーターによる相談は相談時間を縮小し、相談については電話相談を主体とした。

また、オンラインによる「がんサロン」を開催し、がん経験者や家族、医療従事者がテーマに沿って語らい交流した。

医師相談	0	件
保健師相談	22	件
社労士相談	0	件
ピア・サポーター相談	19	件

2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022甲府

8月26日（金）午後4時～8月27日（土）午前11時まで山梨県立大学池田キャンパスにおいて、夜越えのリレーウォーク等によるチャリティーイベントを3年ぶりに新型コロナウイルス感染防止対策を講ずるなかで入場制限を設けず、第7回目を県立大学と共催で開催した。

開催経費を除いた募金、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

- 主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022甲府実行委員会
公益財団法人日本対がん協会
- 参加者 268名
- 募金額 763,997円

3 受診率向上のための普及啓発活動

- 県民の日記念行事

11月20日（日） 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 7名

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け県民の日記念行事の催しは従来の2日間ではなく1日限定で開催された。

III 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載を行った。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にごん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

9月に行っていた甲府駅南口での街頭キャンペーンは感染防止のため中止とした。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、甲府駅前で行っていた街頭キャンペーンはコロナウイルス感染防止のため中止とした。

3 講演会の開催

令和5年3月に「歩いて伸ばそう健康寿命」をテーマに、ウォーキングアドバイザー日本健康運動指導士会山梨県支部長 依田武雄先生による講演会の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染防止のため再度中止とした。

4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。令和4年度においては、県民の日記念行事に限り参加した。

令和4年11月20日（日） 県主催「第35回県民の日記念行事」
於 小瀬スポーツ公園

- ピア・サポーターによる「がん相談」の実施 相談者2名
- 乳がん視触診モデル体験
- 骨密度検査の実施
- 各種啓発資材等の配布

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配布

事業団広報誌「すこやかだより」を発行するとともに、結核予防会発行の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配布し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

IV 研修事業

1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加人数
結核予防会		
第15回関東甲信越地区結核予防婦人団体幹部講習会	11月21日	2 人
令和4年度結核予防会関東甲信越支部ブロック会議 [千葉県]	11月25日	2 人
第27回結核予防関係婦人団体中央講習会	2月28日～3月1日	1 人
第74回結核予防全国大会・支部長会議 [熊本県]	2月14日～15日	1 人
日本対がん協会		
2022年度全国事務局長会議 (オンライン)	7月11日	1 人
2022年度がん征圧全国大会 [三重県] (オンライン)	9月2日	1 人
令和4年度日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 [長野県] (オンライン)	12月2日	2 人

名 称	開催月日	参加人数
予防医学事業中央会		
全国運営会議（オンライン）	7月6日	1 人
第39回全国情報統計研修会（オンライン）	8月26日	4 人
第67回予防医学事業推進全国大会 [鹿児島県]	10月27日～28日	2 人
令和4年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議[山梨県]	12月8日	12 人
令和4年度全国業務研修会 [高知県]	2月16日～17日	2 人
令和4年度保健指導研修会（オンライン）	3月10日	1 人

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等に職員を参加させた。

名 称	開催月日	参加人数
<健診部・検査課>		
第47回日本超音波検査学会学術集会	5月27日～29日	1 人
第63回日本臨床細胞学会総会（春期大会）（オンライン）	6月15日～19日	2 人
日本超音波医学会 第34回関東甲信越地方会学術集会	9月24日～25日	1 人
日本臨床検査精度管理調査報告会	3月3日	1 人
<健診部・放射線課>		
第61回日本消化器がん検診学会総会（オンライン）	6月10日～12日	3 人
第11回首都圏消化器画像技術研究会（オンライン）	11月19日	1 人
第30回日本CT検診学会学術集会（オンライン）	2月17日～18日	1 人
第18回胃がん検診専門技師技術研修会（オンライン）	3月11日～12日	1 人

- 3 県内10検診機関等で構成する山梨県検診機関連絡協議会は令和2年度をもって閉会となり、新たに、各検診機関の情報共有・情報交換を目的とした「検診実施機関情報交換会」が発足され、令和5年1月13日に山梨県厚生連健康管理センターに於いて開催された。令和4年度はコロナ禍における検診実施状況、国の指針に沿ったがん検診の実施、インボイス制度への対応状況等について意見交換が行われた。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

- (1) 令和4年6月6日 第1回「理事会」 於 山梨県医師会1F多目的エリア
令和3年度事業報告、収支決算報告、評議員の選任につきその候補者、理事の選任につきその候補者、監事の選任につきその候補者、令和4年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。甲南健康福祉協会との合併による事業引き継ぎについて事務局より報告があった。
- (2) 令和4年6月22日 第1回「評議員会」 於 山梨県医師会1F多目的エリア
令和3年度事業報告、収支決算報告、評議員の選任、理事の選任、監事の選任について審議が行われ、可決承認された。甲南健康福祉協会との合併による事業引き継ぎについて事務局より報告があった。
- (3) 令和4年6月22日 第2回「理事会」 (決議省略)
役員を選定について可決承認された。
- (4) 令和5年3月22日 第3回「理事会」 於 山梨県医師会1F多目的エリア
令和5年度主要な取り組み、事業計画(案)、収支予算(案)について審議が行われ、可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として医師、税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会は、感染防止のため中止とした。

VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供に努めている。

令和4年度の救急案内件数は、16,070件で、前年度と比較すると1,839件増加した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けこの3年間は大幅な件数の減少となったが、令和4年度は行動制限が緩和されたことによる人の移動が起因となり案内件数はコロナ前に迫ってきた。しかしながら、県民の感染防止対策の意識は引き続き高く、風邪の流行抑止となっていることから過度な案内件数の増加にはならなかった。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務 (医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集)
- (2) 情報の提供業務 (患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供)
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数

年度	H元	H02	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186	9,465
H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145	21,254	19,368	18,917
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02	R03	R04	合計
19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	18,589	18,279	17,944	12,230	14,231	16,070	443,675

3 案内状況

種別		令和3年度	令和4年度
救急医療情報センター案内件数		14,231	16,070
受付時間別案内件数	深夜(0時～8時)	1,848	2,004
	日中(8時～18時)	6,973	8,170
	準夜(18時～24時)	5,410	5,896
診療科目別案内件数	内科	5,153	6,469
	小児科	1,167	1,806
	外科	876	870
	整形外科	2,559	2,443
	眼科	680	612
	耳鼻咽喉科	683	719
	歯科	676	607
	脳神経外科	818	888
	皮膚科	569	690
	産婦人科	138	97
	泌尿器科	237	223
	精神神経科	39	53
	その他	636	593
計	14,231	16,070	